

1 題材名 「よいマナーと悪いマナー」

2 授業のねらい

- ・マナーにはよいマナーと悪いマナーがあることを知り、ロールプレイを通して自分も相手も気持ちよくなるマナーに気づくことができる。

3 本時案

時間	学習活動（・児童の反応）	指導上の留意点
導入	<p>○「いろいろ握手」をする。</p> <p>○朝、友だちに会ったときどうするとよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おはよう」と言おう。 ・相手の目を見て言おう。 ・明るくにっこりしよう。 <p>○隣の人に「あいさつ」をする。お互いどんな気持ちになったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・態度も大切だ ・あいさつがないと悲しい ・お互いがあいさつするといいい気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・指先、片手、両手、さかさまなど、いろいろなやり方で握手をすることで、心ほぐしができるようにする。 ・お互いがさわやかなあいさつをした場合と、あいさつをしても答えない場合をロールプレイし、気持ちを考えられるようにする。
「よいマナー」と「わるいマナー」について考えよう。		
主活動	<p>○具体的な場面での「よいマナー」と「わるいマナー」を考える。</p> <p>場面1 列に並びたい時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい…譲り合う。先に行ってもらおう。 ・悪い…友だちを押す。横入りする。 <p>場面2 コンテナ室でカゴなどをとってもらった時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい…お礼を言う。ていねいにする。 ・悪い…何も言わない。奪うように取る。 <p>場面3 地域の人にあいさつされた時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい…顔を見てあいさつをする。 ・悪い…返事をしない。友だちと話す。 <p>○考えた「よいマナー」をロールプレイする。</p> <p>場面1と場面3についての「よいマナー」をロールプレイする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーについて、より具体的に考えられるように、児童にとって身近な場面を示すようにする。 ・ワークシートに、良いマナーの例、悪いマナーの例を書いて発表するようにする。 ・相手の気持ちがよくなるようなロールプレイができていない児童を賞賛し、他の児童が見習えるようにする。